



ほけんだより



たがみ台保育園 R7.11.29 (土) 発行

今年は夏が長く秋が始まったかと思うと急に寒さが増し、発熱や咳などの症状が見られる子ども達が増えてきました。朝晩と日中の寒暖差が大きく、体調を崩しやすい時期になっています。楽しい行事がたくさんあるこの季節、生活リズムを整えながら元気に過ごせるようにしていきたいですね。

☆検診のお知らせ☆

内科検診が下記の日程で行われます。

- ◎健診の結果については、再検査等が必要な場合のみ個別にお知らせします。ご了承ください。
- ◎健診の当日はなるべくお休みしないようお願いいたします。また、当日検診のみ出席される方は担任までお知らせください。

内科検診：12月 3日(水) 14:30～

★お願い★

感染症にかかった場合は、保育園に連絡をお願いします。また、回復後は、**医師記入の登園許可書**もしくは**保護者の登園届**が必要となることがあります。分からないことがありましたら、保育園の方にお問い合わせください。

解熱剤、正しく使って

どんなときに使う？

熱で寝つけない、飲んだり食べたりできないときに飲ませましょう。

ただ単に熱があるからと飲ませるのではなく、「睡眠をとって体力を回復させるため」「水分をとって脱水を防ぐため」など、必要なときに使いましょう。



風邪で高い熱が出ると心配になるものですが、発熱は体が病原体と戦うための生理的反応。熱を下げることで治りが早くなるわけではありません。

熱が下がれば大丈夫？

効果が切れたらまた熱が上がります。解熱の判断は24時間以上熱が出ないときです。

解熱剤の効果で熱が下がるのは5～6時間ほどで、効果が切れたらまた熱が上がるのがほとんどです。引き続き様子を見て、静かに過ごさせましょう。解熱剤で熱を下げて無理をさせると、かえって病気が長引くおそれがあります。



現在園で出ている感染症

- ・新型コロナウイルス感染症